



記念事業の一環として行われたとちぎテレビの
人気番組「うたの王様」の出張予選会

高野 礼子 議員

記念事業の方向性

質問(高野礼子議員)

市制施行60周年記念事業及び合併10周年記念事業実施について伺います。

答弁(市長)

ことし12月に大田原市制施行60周年の大きな節目を迎えます。限られた予算の範囲内でありますが、市民の皆様と一体となり記念事業を実施したいと考え、有識者で組織する市制施行記念事業準備委員会に記念事業の進め方について諮問いたしました。

委員会からの答申により、メー

間」と位置づけ、さまざまな記念事業を実施することとし、記念植樹やプロスポーツによるスポーツ教室などのイベントを実施する予定となっています。

また、多くの市民の皆様方に10年後、50年後の大田原市の輝かしい未来を思い描いていただくために大田原市の将来像のキャッチフレーズを募集し、優秀作品を記念式典においてお披露目し、表彰する計画でございます。さらに、記念年間に開催するさまざまな市のイベントを60周年記念の名を冠した協賛事業と位置づけ、60周年記念の特別賞などを設け、記念品を配布することにいたしました。

ンの事業として、市制施行の日である12月1日にハーモニーホールにおいて記念式典を挙行し、その際にパイプオルガン演奏によるアトラクションなどを実施するとともに、市に多大な貢献があった方々を特別功労者として表彰することになりました。加えて、ことは平成17年の3市町村合併から10年目を迎える節目の年でもあることから、市町村合併10周年記念式典を兼ねることとしました。

そこで、この記念式典に先立つ約1年間を2つの意味の「記念年

小野寺 尚武 議員

大田原市の財政の方向性(財政運営)について

質問(小野寺尚武議員)

本市の財政状況をどう見ているのか。また財務書類4表及び公会計研究所の大田原市長の貸借対照表を財政運営にいかに関用し、予算に反映させているのか伺います。

答弁(市長)

国の経済は、緩やかに回復しつつあるとされており、本市も市税収入が平成20年9月のリーマンショック以前の水準に戻りつつある状況となっています。しかし、普通交付税の合併特例

加算も平成27年度で終了し、平成28年度より段階的に交付額が減少しますので、大幅な歳入減も想定されます。一方、歳出では依然として扶助費等社会保障関連経費の増大が続いており、今後施設等の老朽化による維持管理経費の増大も想定された大変厳しい状況であると認識していま

す。財務書類4表の財政運営への活用については、公会計改革は、現在実施している事務事業評価や今後の検討を要する公共施設

白書作成を含む公共施設マネジメント等と一体となったものと考えているため、財務書類4表の結果を参考に、直ちに予算に反映するものではなく、長期的視点に立って自治体経営の効率化、健全化等につなげていきたいと考えています。

また、公会計研究所の大田原市長の貸借対照表の活用についても同様に直ちに予算に反映するものではなく、総務省方式改訂モデルと公会計研究所における考え方という2つの別の視点からの資産等の状況を評価すると、どのような結果が得られるかを検証するための業務を委託してまいります。



財政状況を読み解く財務書類4表は
市ホームページで公開しています